

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイリスクラブ浪速		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 14日		2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・視覚情報を多く取り入れ、場所や導線等理解しやすい工夫が 出来ている、	・スケジュールボード(文字やイラストを使用)で見通しを立 てながら、活動毎スムーズに切り替えができ、次に移行できる ように促している ・足型マットや、カラーテープ等を使用しながら立ち位置や順 番待ちの際に視覚的分かりやすい環境設定を行っている	・場所や導線だけでなく、子ども達が主体的に動けたり、思 いや気持ちを表現し、相互的なコミュニケーションがスム ーズにとれるよう絵カード等視覚情報を個々のニーズに合わせ て展開できるようにしていきたい
2	・活動プログラムの立案・展開方法をチームで行おうとする意 識が全体的に高まってきている、また子どもが活動を自身で選 択でき、主体的に取り組める環境設定ができている	・一日の流れや動き、活動プログラムの設定等主導していく役 割を分担しながら、主導役中心に他スタッフを巻きこみなが ら、その都度助言や補足し、チームとして活動プログラムの質 の向上を図っている	・現在の取り組みを継続しながら、チームで意見を出しあえ る機会を設定し、より良い支援の提供ができるように改善を 重ねていく
3	・活動プログラムが固定化しないよう工夫し、一つの活動から 個人の課題に対して、表面的なものだけでなく多角的なアプ ローチをかけられるような仕組みづくりを行っている	・活動プログラム集から支援者側でいくつか提案したものを子 どもたちが選択でき、次回への見通しやモチベーションになる ようにしている	・子どもたちが選択した活動プログラムに対して、支援者側 で個々の課題に多角的なアプローチができるように支援者同 士で活動の様子や振り返りを行いながら、チーム全体で支援 力向上につなげていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援で必要とする空間やスペースが限られている場合がある	・事業所内での活動スペースに関しては、物理的に難しい所も あるのでその他存在しているスペースをどう生かしていくかの 工夫が足りない状態 ・利用する年齢が幅広い(小・中学生含む)ため、安全面の考 慮も含めると、支援の幅が現状少なく感じている	・年長者に役割を与える等縦割りの関係性を持つようにプ ログラム内容を設定し、安全に配慮しながら相互的にコミュ ケーションが取れる環境設定を行う事で、スペースの確保と 療育の質の向上を目指していく
2	・サービス担当者会議の参画、または参加、通園先との連携の 頻度が少ない。	・地域連携において、経験している人数が少なく、引継ぎしな がら育成していく機会の設定ができていない ・通園先との関係性についても、関わりはあるものの深く関係 性を築けていない所がある	・保護者とも連携をとり、ニーズに合わせて通園先とも連携 を取りやすい環境設定を行いながら、連携の機会を増やして いくとともに支援者側が経験できる機会を増やしていく
3	・保護者同士で交流する機会がほとんど提供できず、家族支援 に対するアプローチが一対一の面談など限定的である。	・支援を見学したり、事業所や支援内容を理解してもらい機 会の設定が不足している ・保護者ニーズの把握が不足している	・保護者ニーズを把握できるようにアンケートを取る等ニ ーズの把握に努めながら、ニーズに応じた企画を設定していく